



| | | | |
|------------------|---|-----|---------|
| 研究者名※ | 伊ヶ崎 大理 | 学位※ | 博士(経済学) |
| 所属※ | 家政学部 家政経済学科 | 職名※ | 教授 |
| 連絡先 | ikazaki@fc.jwu.ac.jp | | |
| URL | https://sites.google.com/view/daisukeikazaki/ | | |
| researchmap※ | https://researchmap.jp/read0098563 | | |
| 研究分野※ | 経済学 | | |
| 研究キーワード※ | マクロ経済学、経済政策論、経済発展論、環境経済学 | | |
| 共同研究・競争的資金等の研究課題 | 競争的資金等の研究課題 知識基盤社会におけるイノベーション政策と持続的成長(研究分担者) 持続可能な環境共生型基盤都市の形成と政府の役割に関する理論・実証分析(研究分担者) 空間ネットワーク構造を取り込んだグローバル市場の研究(研究分担者) 南海トラフ地震における防災政策と持続可能な都市・住宅政策に関する理論・実証分析(研究分担者) 市場のグローバル化と地域の政策対応に関する理論・実証研究(研究分担者) 人口減少社会における出生率と経済成長の持続可能性に関する研究(研究代表者) 南海トラフ地震における事前復興政策の官民協働に関する経済分析(研究分担者) 人口減少社会における子育て支援政策と持続的成長(研究代表者) 低開発経済における技術進歩と職業選択に関する研究(研究分担者) | | |
| 社会貢献・産学官連携活動等 | 日本応用経済学会 学会誌編集委員(2006-2008、2012-2016) 熊本市 環境審議会委員(熊本市、2008-2010) 日本応用経済学会理事(2016年-現在) | | |
| 受賞歴 | 日本地域学会 著作賞(2011) 日本地域学会 論文賞(2017) | | |

| | | | |
|-----------------------------------|--|--------|--|
| 研究領域 | マクロ経済学、経済政策論、 経済発展論、環境経済学 | (SDGs) | |
| 研究テーマ※ | 持続可能な経済成長に関する研究 | | |
| 概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由) | <p>【研究の背景・目的・内容】 環境問題、少子化、都市と地方の格差など持続可能な社会を論じるうえで重要と思われるテーマを経済成長理論に組み入れ、持続可能な社会を構築するために必要な条件や政府の政策などについて研究している。</p> <p>【応用例、研究の展望】 応用例は以下のとおりである。 (環境問題と経済成長) ・エネルギー節約型の技術進歩をどのように促進するか。 ・気候変動問題における南北協調と経済成長 (少子化と経済成長) ・子どもを持たない世帯の割合の上昇が長期的な経済にどのように影響を及ぼすか。 ・地域間で出生率の差がある状況で、地域間の人口移動や都市への集積が短期的・長期的な出生率と経済成長にどのような影響を及ぼすか。</p> <p>【研究方法の特色】 内生的経済成長理論(Endogenous Growth Theory)、新しい経済地理(New Economic Geography)などの分野に上述した環境、少子化、地域間格差などの問題を取り入れ、持続可能な経済や社会の在り方について研究している。</p> | | |
| 本研究関連特許・論文等 | ・Kenichiro Ikeshita and Daisuke Ikazaki (eds.) <i>Globalization, Population, and Regional Growth in the Knowledge-Based Economy</i> , Springer, 2021. May. | | |
| 共同研究・外部機関との連携への期待 | | | |